

令和5年11月9日

豊水小学校保護者 様

玉名市立豊水小学校
校長 木場 秀敏

令和5年度前期学校評価（児童・保護者アンケート）の結果について

深秋の候、保護者の皆様方におかれましては、ますますご健勝のことと拝察いたします。
令和5年度前期の学校評価保護者アンケートについてご回答いただき、大変お世話になりました。

児童・保護者からご回答いただいたアンケート結果を集計・分析し、今年度の前期学校評価としてまとめましたのでお知らせします。なお別紙に各質問項目の結果（平均得点及び肯定的回答比率）を掲載しております。保護者アンケート及び児童アンケートは4段階評価で、「そう思う・よくあてはまる」を4点、「だいたいそう思う・だいたいあてはまる」を3点、「あまり思わない・あまりあてはまらない」を2点、「思わない・あてはまらない」を1点として数値化し、2.5以上を「よい評価」と捉えています。

○保護者の評価から見てきたこと【課題と改善点】

まず、得点から見ると、アンケート項目29項目中26項目で3.0を超え、また、4あるいは3と回答した肯定的評価の比率から見ても、29項目中16項目で90%を超えており、これらのことから、全体的に良い結果となっています。特に下記の4項目については得点3.5以上の高い結果でした。

- 「7. お子さんは、毎日楽しく、元気に学校に登校していますか。」
得点:3.5 肯定的回答:97%
- 「12. お子さんは、友だちとなかよく生活していますか。」
得点:3.5 肯定的回答:100%
- 「13. お子さんは、いじめや差別を許さない心が育っていると思いますか。」
得点:3.5 肯定的回答:100%
- 「17. お子さんは、自分の得意なことや自慢できることがありますか。」
得点:3.5 肯定的回答:91%

子どもたちが毎日楽しく、元気に登校できることは、充実した学校教育を進めるうえでの大きな基盤となります。また友だちとなかよく生活していることは、良好な友だち関係が構築されていることであり、楽しく元気に登校できる要因の一つでもあると考えます。今後も子どもたちがより楽しく元気に登校できるように取り組んでいくとともに、お子様を元気に学校に送り出している各家庭にも深く感謝申し上げます。

また、いじめや差別を許さない心が育っていると感じられるのは、大変喜ばしいことであり、仲間づくりや人権教育などへの意識が高まっているのだらうと思います。自尊感情・自己肯定感の高まる取組も、引き続き家庭とも連携しながら進めて参ります。

一方で、以下の3項目については得点において3.0を下回っており、肯定的回答率も40%~70%くらいで、本校の大きな課題であると考えます。

- 「3. お子さんは、進んで宿題などの学習に取り組んでいますか。」
得点:2.9(昨年度比較-0.27) 肯定的回答:71%(昨年度比較-16.7%)
- 「4. お子さんは、進んで読書をしていますか。」
得点:2.6(昨年度比較-0.26) 肯定的回答:46%(昨年度比較-13.8%)
- 「5. お子さんは、テレビやゲームなどの時間・家庭のルールを守っていますか。」
得点:2.8(昨年度比較+0.01) 肯定的回答:66%(昨年度比較+3.8%)

「読書」そして「テレビやゲームなどの時間・家庭のルール」については、児童による評価結果と同様に本校の課題の一つです。「読書」については個人差があり、図書担当や図書室補助員、そして担任が連携して読書活動を推進しているところですが、年4回のメディアコントロールウィークの実施や読書活動推進のためのより工夫した取組を行ってまいります。再度ご家庭でも「豊水っ子ゲーム・インターネ

ット・スマホ利用5ヶ条」及び各家庭での決められた時間・ルールをご確認いただき、節度ある生活が送れますようご協力をお願いいたします。

なお、昨年度後期との比較では、得点における29項目中2項目しか上回ったものではなく、19項目が下回ってしまいました。下回った項目につきましては、今後改善すべき課題として、ご家庭ともさらに連携を深めながら取り組みを進めてまいります。

ただ、全体的に高い評価をいただけたことは大変ありがたいことです。今後さらに邁進すべく取り組んでいきたいと思っております。

○児童の評価から見えてきたこと【課題と改善点】

25項目中15項目において3.5以上の得点(満たなかった10項目は3.0以上)であり、高い評価でした。特に数値が高かったのは下記の6項目で、得点は3.8となっています。

- ・「12. 友だちとなかよく過ごすことができた。」
- ・「13. 自分はいじめや差別を許さない心が育っている。」
- ・「15. 学校や社会のルールやマナーを守ることができた。」
- ・「20. 先生は自分たち一人一人を大切に教えてたりしている。」
- ・「22. 先生はいじめや差別のない学級づくりに取り組んでいる。」
- ・「23. 先生は災害や事件、自己から自分たちを守ろうとしている。」

特に項目15、20については肯定的回答が100%であり、すべての児童がしっかりルールやマナーを守って学校生活を送ろうとしている様子が見え、かつ、「自分たちは、先生たちから大切にされている」と実感していること分かります。

しかし、児童アンケートによる評価はあくまでも自己評価でありますから、「得点が高い項目」＝「よくあてはまる項目」とは必ずしも言えない部分があります。子どもたちの意識と実際の言動を担任が正しく看取り、そして保護者の方々の意識などと重ねながら、子どもたちの正しい実態を把握し、状況に合った的確な指導・支援を今後心がけなければならないと考えます。

また、子どもアンケート25項目において保護者アンケートと比較すると、21の項目で保護者よりも高い得点となっています。保護者の評価よりも児童の自己評価の得点が高い現象は毎回見られるのですが、反対に保護者よりも低かったのは「16. お子さんは、自分自身のことが好きであると思いませんか。」「17. お子さんは自分の得意なことや自慢できることがあると思いませんか。」「25. 教室はいつも整理整頓され、気持ちの良い環境に整えられていた。」の3項目でした。子どもたちが自尊感情、自己有用感を感じているかについて、保護者の方々の意識よりも子どもたちの意識が低いということが言えるかと思っております。今後、一人一人の子どもが友達や先生、地域の方々と楽しく有意義に関わり合いながら、ますます学校生活が楽しいと感じられるように、そして、自尊感情や自己有用感をますます高められるように、ご家庭と連携しながら取り組んでまいります。

○保護者アンケートの自由記述より

自由記述欄において、学校へのご感想、ご意見を2件いただきました。この全てを職員で確認し、できる事を前向きに検討し、取り組んでいきたいと思っております。ご感想、ご意見について回答致します。

- ◆学校で友達や先生に会うのが楽しみと言いながら毎日過ごしています。
- ◆子どもたちのために、ご尽力いただきありがとうございます。
……ありがとうございます。子どもたちの幸せは私たち職員の最大の目標であり喜びです。いろいろご心配をおかけすることもありますが、一人一人の子どもが「毎日楽しく行きたくなる学校」であり続けられるように、今後も職員一丸となって取り組んでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

保護者の皆様方からご回答いただきました学校評価から、本年度前期の取組を基本路線として更に徹底した取組を行い、後期はもう一段上の向上(レベルアップ)を目指します。

皆様のご支援、ご助言等今後よろしくお願いいたします。ご協力、ありがとうございました。